

訪問介護事業所 スマイリー仙台講習会 人工呼吸器を装着している在宅療養者の 災害時対策研修

6月14日（木）、訪問介護事業所スマイリー仙台の講習会「人工呼吸器を使用している在宅療養者の災害時研修」において、当施設をご利用いただきました。講師は仙台往診クリニックの遠藤美紀さんが務め、事業所の14名の介護職員の方が参加しました。

初めの全体講義では、たん吸引（第3号）の基本研修の内容について、要点をまとめて説明いただきました。その後、参加者は手動式・足踏み式吸引器の特徴等の説明を受けた後に、吸引シミュレータ「Qちゃん」を用いて、実際の吸引器の取り扱い方法や、手動式・足踏み式吸引器のそれぞれの吸引圧の違いを体験しました。

続いては、気管カニューレの抜去事故対応について演習を行いました。抜去事故の際は迅速な対応が必要となるが、慌てないこと、そしてカニューレの挿入位置を直下に見て行うことが大切であると説明を受け、参加者の皆さんは熱心に取り組んでいました。また、再挿入しカフを膨らました際の適切なカフ圧の設定についても繰り返し練習し、参加者からはすぐにでも訪問介護の現場で活用できると感想がありました。

最後に、人工呼吸器が使用できない時の対処として、気管挿管シミュレータを用い、バッグバルブマスク換気を自身の呼吸と合せながら行う練習を実施しました。普段の訪問介護時にはなかなか触れる機会の少ない手動式・足踏み式吸引器の扱い方や、抜去事故の対応について練習できたことは、参加者にとって実りのある研修となったようです。

